

学校教育指導の方針

大洗町教育大綱

茨城県総合計画

基本理念「活力があり、県民が日本一幸せな県」

▶新しい人財育成

学校教育の柱

- 1 確かな学力を育む教育の推進
- 2 豊かな心を育む教育の推進
- 3 健やかな体を育む教育の推進
- 4 時代の変化やグローバル社会に対応できる教育の推進
- 5 自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進

6つの基本的方向

「海をのぞみ 未来を拓く 大洗っ子の育成」

- 1 豊かな人間性をつちかう教育の推進
- 2 確かな学力の習得と活用する力の育成
- 3 健康な心と体を育てる教育の推進
- 4 学校・家庭・地域の協働
- 5 社会の変化に対応した教育の充実
- 6 安心して学べる質の高い教育環境づくり

学校教育目標

〔南中の三つの宝〕 『時』『礼』『美』 自主・自律を目指し

自ら学ぶ意欲をもち、創造性に富む知性豊かな生徒の育成
正しい判断力をもち、情操豊かで思いやりのある生徒の育成
目標達成に向かって粘り強く努力し心身ともにたくましい生徒の育成

生徒の実態

- 学習
○授業に対する受け身な姿勢
- 生活
○「時・礼・美」を自分事にできていない
- 人間力(生きる力)・・・受け身
- 根気強さ、粘り強さの不足
 - 自信がない、周りを気にしてしまう
 - 待ちの意識が強い
 - 遠慮がち

生徒の発達をどのように支援するか

愛情とエネルギーを注ぐ
生徒一人一人と向き合い、寄り添う時間の確保
生徒一人一人の教育的ニーズに合った支援
自己選択・自己決定させる場の設定

目指す生徒の姿

- 学習
○自分たちで共に授業を創る意識
- 生活
○「時・礼・美」が自分事になる
- 人間力(生きる力)、自己肯定感、豊かな人間関係の形成
- 根気強く
 - 自分の意見をきちんと伝える
 - 自分の思いをもって行動する
 - 物怖じしない、自信を持つ

豊かな人間性

どんな
・心理的たくましさの形成
・非認知能力(意欲、協調性、自制心、忍耐力、自己肯定感)

↓どこで
他の良さを認め合える役割分担、環境づくり/本音で語り合える場の設定/心理的安全性のある学校・学級づくり

↓どのように
特別活動を通して成功体験を増やす⇒成功体験の蓄積

健康・体力

- セルフプロデュースによる健康管理、振り返りの活用
- ・チェックシートを活用した振り返り
- ・将来にわたって健康な生活を送るため自ら考え判断し、実践できる力の育成
- ・個々に応じた食育と健康教育
- 学年・学校全体で係わる教育相談の継続(早期発見、早期対応)
- ・定期的教育相談 ・相談窓口 ・SC、関係機関とのスムーズな連携

確かな学力

何ができるようになるか

- 対話を通して学びを深める/より深い議論をする
- 次の課題につながる振り返り(自分の学びを振り返り、自分で課題を設定する)
- 自ら課題を探究しようとする資質

何が身に付くのか

- 他者との協働、コミュニケーション能力
自分の思いや考えを発信する力
- 根気強く学習に取り組む/粘り強く学習に取り組む

何を学ぶのか

- 教科横断的な学びからつながる探究的な学び
- 探究的な活動の充実⇒探究的に学ぶことの楽しさ

どのように学ぶか

- 教科横断的な学び
- 主体的に学びをプロデュースする
- 自分の課題を選択できる課題解決学習/自ら学習を調整する力
- 空間を活かした協働的な学習活動
- ICTとホワイトボードのハイブリット活用
- 地域の力を活用した学び

実施するために何が必要か

- 柱：9年間を見通した教育の実践
(総合的な学習の時間の充実、教科横断的な学び、学習習慣等における小中連携)
- 三つの対話(課題・仲間・自分)
+教科等横断的対話、地域・学校外の機関との対話(地域とともにある学校づくり/地域人材の活用)

教育活動を支えるために

「大洗うみ・まちコミュニティスクール」の取組を全職員で共有し、教育実践に生かす。

教職員の健康な心身の維持【バランスの取れた働き方】
・働きがい、働きやすさ
・超過勤務45時間未満、年360時間未満100%達成

組織目標：「NATTO〈粘り、繋がり、拘わり(こだわり、かかわり)、発酵・発光(はっこう)〉の創造」